

日本学術会議 公開シンポジウム(参加無料)

持続可能な都市農業 の実現に向けて

日時: 2017年9月19日(火)13:00~17:00

会場: 日本学術会議講堂

(東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口徒歩1分)

開催趣旨

近年、環境共生都市の実現への期待から、農業の持つ多様な機能が注目され、循環型社会構築のための都市農業の重要性が再評価されている。しかしながら、都市農業においても、農業従事者の高齢化や後継者不足等からその持続性には問題が生じている。このような背景から、平成27年4月に都市農業振興基本法が制定された。当分科会では、基本法の理念に立脚し、環境共生都市を目指した持続的な都市農業振興を推進するために、現在の都市農業における課題を整理し、都市農業振興に向けた施策や学術研究の方向性について検討した。特に、収益性に優れた施設農業を含めた多様な農業形態の共存について、都市農業の持つ機能と持続性の観点から検討し、報告を取りまとめた。

本シンポジウムでは、報告書の内容を紹介するとともに、持続可能な都市農業の実現に向けた学術研究・技術開発の方向性について、農業生産環境工学的視点を中心に議論する。

プログラム (予定)

13:00 開会挨拶 大政謙次(日本学術会議第二部会員、東京大学名誉教授)

13:05 趣旨説明 荊木康臣(日本学術会議連携会員、山口大学大学院創成科学研究科教授)

講演: 13:15-16:10

13:15 報告「持続可能な都市農業の実現に向けて」の概要紹介
大政謙次(日本学術会議第二部会員、東京大学名誉教授)

13:35 施設農業の経営的な優位性や都市農業での課題
奥島里美(日本学術会議連携会員、農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究部門ユニット長)

13:55 都市農業における資源循環や効率的なエネルギー利用の可能性について
北宅善昭(日本学術会議連携会員、大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授)

休憩: 14:25-14:40

14:40 都市農業における多様な農業形態の可能性
増田 昇(日本学術会議連携会員、大阪府立大学名誉教授・研究推進機構植物工場研究センター長)

15:10 WebGISの農業利用の現状と都市農業への応用の可能性について
小川茂男(農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究部門技術移転部部長)

15:30 東京農業の新たな展開に向けた技術開発の取組
望月龍也(東京都農林水産振興財団東京都農林総合研究センター長)

15:50 農耕文化都市の実現に向けた研究開発・人材育成
古在豊樹(日本学術会議連携会員、千葉大学名誉教授)

16:15 総合討論(進行: 荊木康臣)
コメンテーター: 位田晴久(日本学術会議連携会員、宮崎大学名誉教授)

16:50 閉会挨拶 橋本 康(日本学術会議連携会員、愛媛大学名誉教授)

主催: 日本学術会議農学委員会農業生産環境工学分科会

後援: 日本農業気象学会、日本生物環境工学会、日本農業工学会、農業施設学会、生態工学会

参加費: 無料(事前申し込み不要)

連絡先: 荊木康臣(ibaraki@yamaguchi-u.ac.jp)